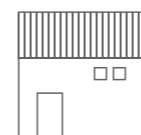


木の家で  
暮らそう。



令和2年度  
いばらき地域適合型木造住宅コンペ作品集



令和2年度  
いばらき地域適合型木造住宅コンペ作品集

この冊子は「いばらき地域適合型木造住宅」の基本的な考え方を啓発普及するために作成されたものです。掲載される記事内容はすべて各チームからの提出書類を要約したもので、「宣伝広告」を意図したものではありません。  
また当連合会では、これら各グループへの仲介斡旋は一切行っておりません。



木造住宅相談店

主催／茨城県木材協同組合連合会  
協力／茨城県  
後援／(一社)茨城県建築士事務所協会・(一社)茨城県建設業協会

〈お問合せ先〉  
茨城県木材協同組合連合会  
TEL.0294-33-5121 (代) FAX.0294-33-5191  
(e-mail) mokuren@atlas.plala.or.jp  
茨城県土木部都市局住宅課  
TEL.029-301-4759 FAX.029-301-4779

茨城県木材協同組合連合会

自然がはぐくみ、人の和が育てる………木のぬくもりあふれる、堅実な暮らし。WOODY STEADY LIFE 2021

## 地元の大工が地元の木で作る。 日本の「いい家」のつくりかた。

■地元の大工が地元の木で建てるといい家になる、と言われる。南北に長い日本は気象や地理条件が地域で異なり、その土地独自の材の選び方、組立方など長年積み重ねられた経験や工夫を取り入れる地元の大工こそが、長く住める家を建てられるからです。また、地域大工・工務店は完成後もきめ細かいアフターメンテナンスや修繕に対応します。地域には信頼関係に根ざした安心できる家づくりのシステムが構築されているのです。■茨城県では家づくりの原点に戻り、地域が育んだ木材を利用し現代のライフスタイルに合う木造住宅を適正な価格で提供するため、地域の木工・工務店と建築設計事務所が連携・協力しながら、家づくりを通して建築主との信頼関係を育てていく、安心と信頼の地域ルール「いばらき地域適合型木造住宅供給システム（自然が育み、人の和が育てる）」を確立したいと考えています。■関連事業者の連携、協力のもとに提供された良質な木造住宅の企画や提案を含む建築実例を募集し、ここにまとめました。皆様の家づくりの検討の一助となれば幸いです。

### Contents

- 那珂の家 岩瀬卓也建築設計事務所＋(株)木楽工房 01
- ARTSPACE 布布 高橋建築構造設計室＋(株)茨城県南木造住宅センター 02
- 斜面に立つ借景の家 (有)宮本建築トリエ＋内海木材(有) 03
- 本郷の家 (株)藤井設計＋(株)吉田工務店 04
- yet yet edodesign 二級建築士事務所＋(株)茨城県南木造住宅センター 04
- 三角屋根の現代民家 建築設計室 シドミ＋(有)福田建設 04
- ぬく森通りの家 m・style 一級建築士事務所＋(有)ユタカ総建 05
- パティオのある家 m・style 一級建築士事務所＋(有)ユタカ総建 06
- 歪・方形屋根の家 Nido architects＋(株)鈴木工務店 06
- 「リフォーム物件やさしい木洩れ日の入る家」大竹建築工房＋大竹建築工房 06
- 「いばらき適合型木造住宅」とは (一社)茨城県建築士会会長 柴 和伸 09

●…令和2年度いばらき地域適合型住宅コンペ「最優秀」作品 ●…「優秀」作品

※応募作品ページ以外 および 表紙に掲載された写真はすべて「最優秀賞：那珂の家」のものです。  
※受賞者の意向等により、「坪単価」「延床面積」「平面図」等の掲載がない作品もございます。ご了承ください。  
※各作品の「坪単価」は税別価格です。



### 【優秀作品】

#### 「ARTSPACE 布布」

住宅とアトリエ、ギャラリー、カフェスペースを緩やかに繋ぎながら併設されたプランは、プライベートを求めた中庭を介して、外部との一体感のある建物を実現させています。地域材を用いた空間は、珪藻土や自然素材の仕上材によるシンプルな仕上と共に、温かみのある優しい空間を創り出しています。住まいとギャラリー等の用途をそれぞれ独立させながらも、互いに調和し、周囲の景観の中であたかもパッチワークのように相乗効果をもたらしながら共存し、心地良い空間を創り出した作品となっています。

### 【優秀作品】

#### 「斜面に立つ借景の家」

八溝杉をふんだんに用いた木構造による建物は、空間全体を豊かに演出し、木のもつ温かさや柔らかさを感じさせています。緩やかに傾斜した敷地を生かしたプランは、周辺の緑を取り込み、外壁の木格子とのコントラストの中で、周囲の街並と調和のとれた景観を形成し、建物の内部と外部がさまざまな繋がるプランも見事にまとまっています。吹抜上部の天井仕上は、木の特性を生かした質感のあるシャープなデザインで、周囲の緑影を取り込みながら外観デザインと呼応し、内と外との境界のない住空間を生み出し、周辺環境と見事に融和した作品となっています。

● 審査委員長  
一般社団法人  
茨城県建築士会 会長  
柴 和伸

● 委員  
一般社団法人  
茨城県建築士事務所協会 会長  
舟 幡 健

一般社団法人  
茨城県建設業協会 建築委員長  
沢 畑 正 剛

茨城大学工学部都市システム  
工学科准教授  
熊 澤 貴 之

茨城県木材協同組合連合会  
木造建築部会長  
浅 川 清 司

茨城県農林水産部  
次長 兼 林政課 課長  
加 藤 剛 広

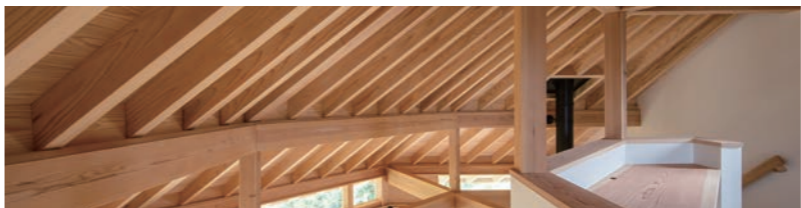
茨城県土木部 技監 兼  
都市局住宅課 課長  
小 坏 達 也

## 講評

### 令和二年度

## 「いばらき地域適合型木造住宅コンペ」の審査を終えて

一般社団法人茨城県建築士会 会長 柴 和伸



令和二年度「いばらき地域適合型木造住宅コンペ」には、建築設計事務所と地域の工務店、そしてそれぞれの専門技術者の皆さんが協力し合いながら知恵を結集し、地域が育んだ木材を活用し、現代のライフスタイルにあわせた木造住宅十二作品とリフォーム住宅作品の応募がありました。

竣工した住宅作品によるコンペは今年十回目を迎え、設計者・施工者の経験と知恵を傾注し、今回もそれぞれの作品が敷地を有効に活かし周辺環境に調和した作品となっていました。茨城の気候風土を踏まえながら、地域材を用い、設計者・施工者それぞれがその地域での生活の経験や知恵によって培われた専門技術を注いで造られた住宅は、改めて木造住宅の素晴らしさを感じさせてくれました。

応募作品はいずれも、茨城県産木材を用いながら、木の持つ優しさ、あたたかさを生かした力作揃いとなりました。

審査は、七名の審査委員が応募作品の中からそれぞれが四作品の選出の投票、そして、上位選出作品の中から審査員の講評をいただきながら慎重に検討の結果、最優秀作品「那珂の家」、優秀作品「ART SPACE 布布」、優秀作品「斜面に立つ借景の家」の三作品に決定いたしました。

惜しくも選外となった応募作品も、それぞれが県産木材を生かした力作であり、応募された方々には審査委員長として感謝申し上げますと共に、次の機会にはさらに一層の力作の応募をご期待申し上げます。

### 【最優秀作品】

#### 「那珂の家」

リビングダイニングの天井の松の垂木は、継手を見せることなく扇状に、既存の庭に向かって伸びやかに拡がっています。

大黒柱を中心に広がる梁により生み出される広々とした空間は、無垢材のもつ質感と共に、重厚さの中にも軽やかで明るい空間を生み出しています。

高い技術力による大工技術の継承はたいへん大切なことであり、丁寧に仕上げられた木材に庭の緑影が呼応し、窓辺に映る樹木と共に家の中に庭が取り込まれ、広々とした外部と一体感ある室内空間を創り出しています。

ライフスタイルを反映した現代風のプランの中で、ダクトファンで送られた熱の有効利用を取り入れるなど、施主と設計者、施工者の思いの伝わる建物であり、技術力そして素材の樹木の歴史が凝縮され、温かで居心地の良い空間のある作品となっています。

## 最優秀

# 那珂の家

岩瀬卓也建築設計事務所 + (株)木楽工房



2階ホールから見るリビングダイニング



家族で過ごす休日は、庭が第二のリビングのよう



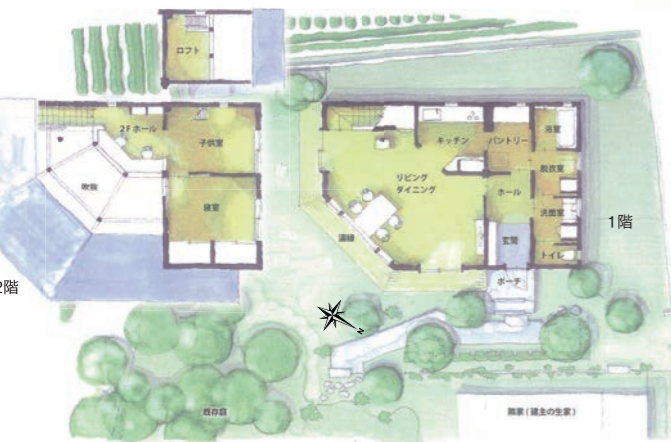
既存の庭の緑を愉しみながら、ゆっくりと流れる時間を楽しむ

## 「次世代への贈り物」としての住まい。残したい技術を守りながら暮らす。

敷地内には施主の生家がある。自由度の高いプランで、緑豊かな既存の庭が広がっている。この庭を共有し、それぞれに独立しつつ繋がりが感じたい家づくりの考え方と技じられる家づくりがコンセプト。術が活きる、「現代のライフスタイルで望む家」と「古来から南側の2階壁面を生家と揃え、術が活かせる」と「古来からすることで圧迫感を避け、こじんまりとした佇まいを実現した。性秘めた家づくりとなった。

南東側には庭に向けて構造材はすべて杉と松の地。リビングダイニング。扇状に伸びる無垢材の勾配天井が空間的に視覚的にも広がりをもたせる。同時に生活動線を考慮し、回遊性を高めた。薪ストーブで温まり、上昇した空気をダクトファンによってキッチンに送られ、熱の有効利用を

はじめカウンターや本棚、巾木、回り縁なども既製品を使わずすべて杉の無垢材を加工し、手仕事の味わいを活かしている。



申請者：岩瀬卓也建築設計事務所  
0294-72-6121

工事施工者：(株)木楽工房 0294-85-8686

延床面積(坪)：93.29m<sup>2</sup>(28.16坪)

優秀

ART SPACE 布布

高橋建築構造設計室 + (株)茨城県南木造住宅センター



住宅、アトリエ、ギャラリー、カフェスペースを備えた、居心地のよさに人が集う住まい。



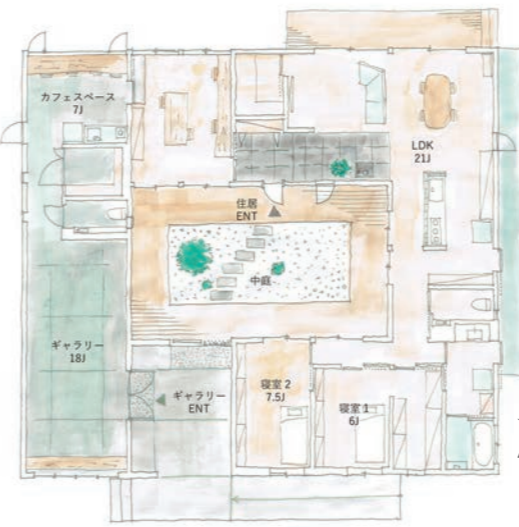
リビングとフラットに繋がる玄関

プライベートな中庭で採光と通気を確保

南側窓から臨む里山の風景に癒される

ギャラリー併設のカフェスペース

ギャラリー部分/住宅街に開けた開口部



申請者：高橋建築構造設計室 029-823-7867  
 工事施工者：(株)茨城県南木造住宅センター 029-852-8010  
 延床面積(坪)：172.23m<sup>2</sup>(52坪)

■TXつくば駅から車で約10分。学園都市と文教地区を抜け、北に筑波山、南に里山、東に田園風景を臨む緑豊かな住宅地に佇む、ギャラリー併設住宅。布を愛し、パッチワークキルト作家のオーナーが、六〇歳で一念発起して実現した夢の住まい。■住宅「アトリエ・ギャラリー」：カフェスペースを備え、中庭からの採光と通風が心地良い。里山の景観に馴染むよう高さを極力抑えた平屋とした。窓二面に広がる緑と、薪ストーブの揺れる火を眺め、訪れる人との交流、作品制作を愉しむ夢の暮らしの舞台。洗練された雰囲気と自然素材のもつ自然の優しさが融合した、訪れる人を柔らかく暖かく迎えられる居心地の

良い空間の誕生だ。■こだわったのは自然素材。構造材から仕上材まで多くの地域材を採用した。高さ、広さを抑えたことで無理のない構造計画とし、さらに輸送コストのからない地域材で成立させた。無垢のカーンター材や外壁の焼杉は、施工主自らが地元の材木店に足を運んで選んだもの。素材の相性を見極めながら、素朴な雰囲気を守り真鍮目地でアクセントをつけた。■施工主との対話から多くのアイデアが出た。何より、施工主と設計者が地域材を選び、使うことへの価値観を共にし、自然な形でゴールに向かうことができた、理想的な家づくりとなった。

施主の夢を叶えたギャラリー兼住宅。里山の景観と交流を愉しむ空間。

「いばらき地域適合型木造住宅」とは？

気候風土を踏まえ、地域材を活用してつくる家。

茨城県の気候・風土等の地域性を踏まえ、地域材(※)を活用し、かつ、ユーザーにとって充実感のある住宅とし、これからの木造住宅の指針となるべきコンセプトを明確にした住まい。

※地域材とは次のいずれかに該当する木材及び木材加工品。

- ①県内の森林から生産された原木により製材されたもの。
- ②県内の製材事業所で製材されたもの。

【主な設計基準】

- (1) 地域材を構造材全数量の50%以上使用していること。
- (2) 内装材として、地域材を積極的に活用し、快適でやすらぎのある住空間とすること。
- (3) 住宅の長期の耐久性を確保し、また、地域の自然、景観、生活様式等と調和し、世代を超えて継承・持続されるような工法・間取り・デザイン等を採用すること。

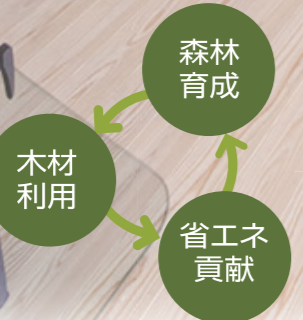


なぜ地域材がいいの？

地域の森林の活性化を図り、地球にやさしい家づくりができます。

森林は、化石燃料などの代替エネルギーとして注目されています。成長期に高レベルの二酸化酸素削減効果を発揮し、地球温暖化の防止にも役立ちます。地域の森林資源を積極的に活用し、同時に植林を進め、常にバランスのとれた循環を整える。資源を生み出しながら、地球環境保護に貢献する森林を育成できる。地域材を使用する意義はここにあります。

地球環境を守るサイクルって？



「森林育成」「木材利用」「省エネ貢献」。次代につなぐ、大切なサイクルです。

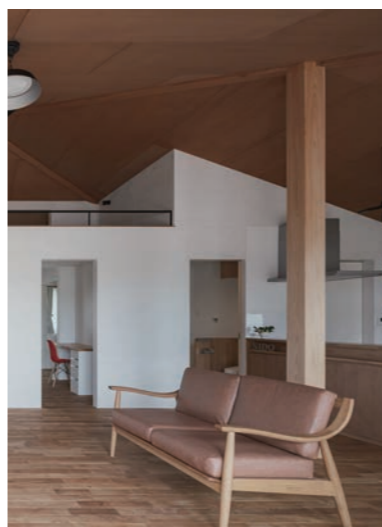
森林を育てるためには、木材の利用を促進する必要があります。木材で建築資材を作るとは他の原料よりも効率がよく、また余分なエネルギーがかかりません。冷暖房費の節約にもつながり、省エネへの貢献度も決して小さくありません。家づくりに用いられた木材が、いずれ土をばらばらにする自然に還り、また森林を育成していく…。自然の循環、持続可能なエネルギー確保のために、木を使って家を建てることは、非常に有用なのです。

# 歪・方形屋根の家

Nido architects + (株)鈴木工務店



■南北に長く伸びた三角形の土地で、平屋でも充分に採光できるように北側に計画。東・南・西側には直射日光を遮る奥行きの深い庇、北側には浅い庇が必要なため、屋根形状を偏芯した方形屋根にした。五本の柱と外周部分で屋根を支える。断熱は屋根全体に施したため、内部全体をひとつの空間として使える。間仕切りの増減によって家族構成や生活の変化に対応できる使いやすの家となった。■木そのままの魅力を活かし、統一感もありながら種類の異なる木材も違いを楽しめる。可変性の高い計画に加え、素材の経年変化による表情の変化も味わえる住まいだ。



申請者: Nido architects 029-855-8388

工事施工者: (株)鈴木工務店 0297-36-0211

延床面積(㎡): 123.43㎡(37.26坪)

## リフォーム応募作品



申請者・工事施工者: 大竹建築工房  
0296-71-8516

延床面積(坪): 116.75㎡(35.31坪)

■子育てを終え、施主夫妻は老後の生活をイメージした。生活の中心は「階にした」、動線も見直したい。その上で、「長年憧れた木の家にリフォームしたい」と決意された。■キッチンが奥まっっており、収納も不足していた。要望通り対面式ダイニングキッチンを導入し、細かな収納スペースも各部屋に設けた。使用頻度を見直し、真壁の和室を主寝室に変更。日常生活の機能をすべて二階にまとめると、動線がシンプルになり、暮らしやすさが向上した。■耐震性能や新たな生活様式への対応などの提案を心がけ、今後、再び長い時間を過ごす家が愛着の持てる使いやすい家になるよう、持続可能な素材や仕様を積極的に盛り込んだ。「木のぬくもり」を何よりも要望された施主は嬉しそうに、「杉の床が柔らかく、肌触りもいい。足裏に汗をかいても絶妙に吸収してくれるのか、夏も過ごしやすい」と喜んでくださっている。

# やさしい木洩れ日の入る家

「リフォーム」大竹建築工房 + 大竹建築工房

優秀

# 斜面に立つ借景の家

(有)宮本建築アトリエ + 内海木材(有)



斜路から見た南側外観。立地条件を生かした表情に趣きを感じる



南側外観



プライベート空間となる中庭



借景がリビングの一部となる



通り玄関土間／空間のゆとりが暮らしに味わい



前面道路からの外観

## 立地を活かし、環境に融合させた内と外が表情豊かにつながる住まい

■敷地は四辺とも、庭木と小さなアプローチとして機能する形な林、学校の土手と桜の木々に囲まれている。市街地の中にありながら自然に恵まれた環境。れたパーゴラ路地、アプローチ、南側道路と敷地の一部は、東側道路より約2メートルを下る斜面になつていて、その斜面と周囲の緑、周辺環境にいか溶け込ませるかが課題となった。「特に斜面に面する木立とその周辺環境は、市街地にあることを忘れさせる見事な景観でした。主要な居室からこの景観をのぞめるように配置することからプランがスタート。特に、玄関の土間は内部と外部を自然に柔らかく繋げながら、リビングダイニングの緩勾配の天井にも八溝杉の小幅板を用い、調湿や吸音にも優れた心地良い空間を実現した。

3



申請者: (有)宮本建築アトリエ 029-244-7711

工事施工者: 内海木材(有) 0295-52-1290

延床面積(坪): 171.19㎡(51.68坪)

坪単価: 700,000円(税込)

6



申請者  
edo design 一級建築士事務所  
029-886-3502

工事施工者  
(株)茨城県南木造住宅センター  
029-852-8010

延床面積(坪)  
118.87m<sup>2</sup>(35.9坪)

■緑豊かなつくば市の住宅地。施主「夫妻は読書が趣味。「本に囲まれ色々な場所で本を楽しみたい」との要望から、保育園に通う息子さんを含めた家族三人が集うLDKの壁面に本棚を備え、気軽に本を手に取り、好きな場所で寛ぎながら読書を楽しむことができる家を実現。家事もスムーズにこなせるよう、廊下にファミリークロゼットを設置し、着替えと洗濯を完結させる。コンパクトながら回遊性のある動線で、日常の様々なシーンで柔軟に対応できる造り。■今後、永く続く暮らしの中で変化にも対応できる懐の深さと変化の余地のある「まだまだ(yet yet)」な家となった。



## ぬく森通りのいえ

m・style 一級建築士事務所 + (有)ユタカ総建



申請者: m・style 一級建築士事務所 029-896-5222

工事施工者: (有)ユタカ総建 029-867-2457

延床面積(坪): 109.30m<sup>2</sup>(33.06坪)

■川沿いに面した台形状の敷地。川を挟んだ南側には雑木林が残っており、施主の「家にいながら自然を感じる住まいを」との要望に最適だった。■交通量のある南の道路側は窓を小さく、川沿いに面する南側の窓は大きくとり、採光と通風を確保し、視界的にも広々と感じられるよう計画した。LDKに在るだけで自然と触れ合える暮らしが実現する。■勾配天井の吹抜けで1階と2階が繋がる。木をふんだんに採用し、リビング天井は垂木と野地板を現しにしたワイルドな印象だが、パーケットフロアの床や広い開口部との組み合わせで、落ち着いた雰囲気となった。

## 三角屋根の現代民家

建築設計室 シドミ + (有)福田建設



申請者: 建築設計室 シドミ 029-259-9999

工事施工者: (有)福田建設 0296-72-6239

延床面積(坪): 154.08m<sup>2</sup>(46.6坪)

坪単価: 700,000円

■懐かしいのに新しい。そんな、一種の郷愁を感じるような味わいの住まい。外観から室内まで、すべて「自然回帰をモットーに」、若い夫婦が暮らす「現代民家」が誕生した。■茨城の木と暮らす」をコンセプトに、周辺の風景に馴染むことを目指した外観は、三角屋根が特徴で、重厚感と同時にどこか軽やかさも感じる。施主自らが伐採から参加した大黒柱が視覚的にも安心感をもたらしている。天井を走る梁と木材の表情も楽しい。建具を開放するとストープのある玄関土間と、畳敷きの居間がワンフロアとなり、大空間が現れる。自由度の高い、心地良い家となった。

## パティオのある家

m・style 一級建築士事務所 + (有)ユタカ総建



申請者: m・style 一級建築士事務所 029-896-5222

工事施工者: (有)ユタカ総建 029-867-2457

延床面積(坪): 111.37m<sup>2</sup>(33.68坪)

■家の中心に光あふれるパティオを設置し、どの部屋からもアクセスできる。夏は庭とつなげてBBQを愉しみ、冬は天窗からの日差しで室内を温める...といった、太陽の恩恵を暮らしに取り入れることができる住まい。■古くからの集落の中、自然あふれる穏やかな環境。「はじめに施主が作ったプランがあり、それを可能な限り活かした。施主と共に考えてうまれた住まいです。」■北側は窓を少なく、玄関をアークセントに造作の無垢張りの仕様。全体的に白と無垢材を基調として統一した。洗練された雰囲気と同時に暖かさを感じる、永く愛せる家となった。